

様式 C-21 〔記入例〕

平成23年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究経過報告書

1. 機関番号

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2. 研究機関名 ○ ○ 大学

3. 研究種目名

基盤研究 (A)

4. 研究期間

平成19年度～平成23年度

5. 課題番号

1	9	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名

〇〇〇〇〇〇に関する研究

7. 研究代表者

研究者番号								研究代表者氏名				所属部局名				職名	
1	0	3	4	5	6	7	8	フリガナ ○ ○ ○ ○				○○学部				教授	
								○ ○ ○ ○									

8. 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合 計
平成19年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
平成20年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
平成21年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
平成22年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
平成23年度	10,000,000	3,000,000	13,000,000
総 計	50,000,000	15,000,000	65,000,000

9. 研究經過

A 6x20 grid of dots. The first row has the first five dots replaced by circles. The last row has the last five dots replaced by circles. All other dots are empty.

10. 研究成果報告書として取りまとめられない理由

(1) けが・病気

(2) その他（具体的に記入）

○○○○○

 ○○○○○のため

11. 研究成果の提出時期（予定）：平成24年12月頃

様式C－21 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（様式C－19）を所定の期日内に提出できない場合に作成すること。
なお、本様式を提出する時点では、研究成果報告書（様式C－19）は、日本学術振興会に提出しないこと。

1. 「機関番号」及び「研究機関名」

研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。

2. 「研究種目名」

「基盤研究（A）」、「若手研究（B）」等の研究種目名を記入すること。

3. 「研究期間」

補助金が交付された期間（年度）を記入すること。

4. 「課題番号」

交付決定通知書に記載された課題番号（8桁）を記入すること。

5. 「研究課題名」

交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。

6. 「研究代表者」

ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1名を記入すること。

イ 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。

ウ 氏名（所属部局・職名）

部局名（略称可）、職名を記入すること。

7. 「交付決定額」

交付決定額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

8. 「研究経過」

この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。

9. 「研究成果報告書と

研究成果報告書として取りまとめられない理由を(1)、(2)から選択して、いずれかを○で囲むこと。

(2)を選択した場合は所定の期日内に提出できない理由を具体的に記入すること。

なお、研究成果の公表を一定期間差し控える必要がある箇所がある場合には、当該箇所については後日公表可能となった際に追記して研究成果報告書（様式C－19）を再提出することとしているので、この研究経過報告書（様式C－21）は提出しないこと。

10. 「研究成果の提出時期（予定）」

研究成果の提出予定時期を記入すること。

「研究成果報告書として取りまとめられない理由」で(1)を選択している場合は、けが・病気の治療予定等、根拠のある時期を記載すること。

「研究成果報告書として取りまとめられない理由」で(2)を選択している場合は、遅くとも、補助事業期間終了後の翌年度3月上旬までの時期を記載すること。なお、研究成果報告書を提出しない場合には、他の補助事業について、交付内定の留保や補助事業の執行停止などの措置を受けることとなるので、可能なかぎり早期に提出すること。

研究成果報告書（様式C－19）は、提出が可能となった時点で、すみやかに日本学術振興会に提出すること。

11. その他

この報告書は、原則として1枚で作成すること。